

元離宮二条城 京都市中京区二条通堀川西入二条城町 541

徳川家康が上洛した際の滞在所にするため、あるいは京都御所を守護する目的として、1603年（慶長8年）に建造されました。3代家光の時に後水尾天皇行幸のために大規模な改修が行われ、狩野探幽の障壁画など多く加えられた。1603年（慶長8年）に徳川家康が征夷大将軍に任命され、祝賀の儀を開いたのがこの二条城です。また15代将軍の慶喜が大政奉還して、徳川幕府の終焉を宣言したのもこの城です。また1915年（大正4年）には、大正天皇即位の大典も実施されました。1939年（昭和14年）に二条離宮が京都市に下賜され翌年には一般公開が始まります。二条城の正式名称が「元離宮二条城」と呼ばれるのは、このためです。戦後の1952年（昭和27年）に、二の丸御殿の6棟が国宝になった他、1982年（昭和57年）には本丸御殿隅櫓（すみやぐら）など、22棟の建物が重要文化財に指定されます。1994年（平成6年）にユネスコの世界遺産（世界文化遺産）に登録されると、海外でもよく知られる観光スポットとして、大勢の観光客が訪れるようになりました(パンフ)



2階を天皇への配慮から一重に建替え 職人の遊び心の鳥の彫刻がある



番所



葵と菊の瓦



東南隅櫓



唐門



豪華絢爛な彫刻

<二の丸御殿内は撮影禁止でした>



二の丸庭園

小堀遠州のもとで改修(二の丸御殿から鑑賞)



土塁と石垣



本丸御殿は改修中



信長が足利義昭を保護する時代の石垣



鶯張り廊下の舞台下の仕組